

## 令和5年度 数学科 授業改善推進プラン

大田区立雪谷中学校

### 1 昨年度の授業改善推進プランの検証

#### (1) 成果

- ・各学年とも、全ての領域別正答率、基礎・活用全体表で目標値を上回っている。

#### (2) 課題

- ・中3の標準スコアが全国値の50のラインより下回っている

### 2 大田区学習効果測定の結果分析

#### (1) 達成率（経年比較）

	令和5年度結果	令和4年度結果	令和3年度結果
第1学年	全ての領域・観点で上回っている。標準スコアは全国平均より上回っている。	/	/
第2学年	前年度校内平均正答率を2.4ポイント上回った。全領域で昨年度・区内平均を上回っている。	区内平均を0.5ポイント上回っている。領域によっては下回っているものもある。	/
第3学年	全国正答率より1.4ポイント下回ったが、目標値より、3.4、前年度の校内正答率より1.2ポイント上回った。	全ての領域・観点で目標値を上回っている。昨年度より、標準スコアは下降したが、全国平均よりは上回っている。	全ての領域・観点で目標値を上回っている。

#### (2) 分析（観点別）

##### ① 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値を上回っている。	目標値を上回っている。	目標値を上回っている。

##### ② 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値を上回っている。	目標値を上回っている。	目標値を上回っている。

##### ③ 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
中学2年時の、式の計算、連立方程式、1次関数の分野で、目標値と昨年度の校内正答率ともに下回る内容のものがあつた。	中学2年時の、連立方程式、1次関数の分野で、目標値より下回る内容のものがあつたが、昨年度の校内正答率よりは、上昇した。	

### 3 授業改善のポイント（観点別）

#### (1) 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
電子黒板等のICTを利用し、視覚的なイメージを持たせる工夫をする。基礎計算の反復と途中式記述の指導により、中学3年間にわたる数学の基盤を固める。	基礎的な内容を反復して定着を図り、日常事象の問題解決に結びつくような活動をさせる。	基礎的な内容を反復して定着を図り、日常事象の問題解決に結びつくような活動をさせる。

#### (2) 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
文字式の正答率が低かったため、反復演習を徹底する。	活用の問題などへ触れる機会を増やす。	この調子で伸ばしていきたい。

#### (3) 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
2元1次方程式の解について理解し、正しい説明ができることや、分数を含む多項式の減法の計算をすることができるや、2直線の交点の座標を求めることができることの内容を、より丁寧に取り扱う。	問題文とそれを解くための連立方程式を読み取り、 $x$ と $y$ が何を表すか指摘することができることや、座標軸上の三角形の面積を2等分する直線の面積を求めることができることの内容を引き続き、丁寧に取り扱う。	